

おぼらだい3いせき
おぼらだいほうるいあと

小原第3遺跡 小原台堡壘跡

(横須賀市No.466・477 遺跡)

調査期間 20110316～継続中

所在地 横須賀市走水

時代 近代



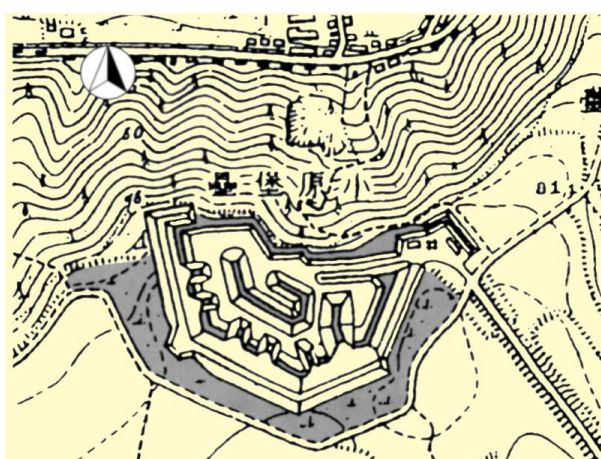
作成日:20110502

概要

本調査は南関東防衛局による防衛大学校食堂棟新設に伴う事前調査として、2011年3月16日から発掘調査を開始しました。

本遺跡は、横須賀市の東京湾を望む観音崎・走水地区の丘陵上に展開しています。これら2遺跡のうち、小原台堡壘は東京湾の防備を目的として明治25年12月1日に起工し、明治27年9月30日竣工されました。本堡壘跡の周辺にも多くの砲台や堡壘、海堡が東京湾を取り囲むように構築されています。

大正3年の陸軍工兵による爆破演習により破壊されたと考えられていた堡壘ですが、これまでの調査から、レンガやコンクリートによる構造物や空壕と考えられる規模の大きな掘り込みなど多くの遺構が確認されています。レンガ構造物とした写真は、厚いレンガの壁に仕切られた構造物です。2mほど掘下げるとコンクリートの床が残っていました。



▲ 小原台堡壘

横須賀市文化財調査報告書 第42集
小原台堡壘跡調査報告より引用(一部改変)



▲ レンガ構造物

